

## 夢に向かってがんばる木曾岬っ子応援キャンペーン シーズン3 !!!

保護者の皆様には、日頃から教育活動やPTA活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

令和6年度がスタートして約2ヶ月が過ぎようとしています。今週はじめは雨天が続きましたが、子どもたちは週末に迎える運動会(木曾岬小では、初めての春の運動会)に向け、練習の日々を過ごしています。

さて、広報きそさき令和6年5月号にて、「夢に向かってがんばる木曾岬っ子応援キャンペーン シーズン3」が紹介されました。取組3年目となります。(これまでの取組の様子につきましては、広報きそさきの関連頁(ページ)をご覧ください)。

2年生以上のお子さんがいらっしゃる保護者の方々におかれましては、昨年度末に振り返りをしていただき、ありがとうございました。児童アンケート「将来に夢や目標を持っている」と回答した割合は、90%を超えるところとなりました。令和3(2021)年度 77.9%:キャンペーン実施前)

今年度も、同様に進めていきます。2年生以上では、端末(iPad)を活用していきます。

※1年生では、紙媒体での取組とします。ご理解願います。

次頁以降の説明を参考にいただきながら、お子さんと“夢や目標ってある?考えてみたことある”などとお話いただき、「わが家の応援プログラム」への記入・学校提出をよろしく願いいたします。

このキャンペーンは、夢や目標に向かってがんばる子どもたちを、周りの大人たちが応援していくものです。



この取組のキックオフ“令和4(2022)年度”を踏まえて、保護者の方々にお伝えしたことを改めて掲載します。この取組に期待する思いについてご理解いただければ…と思います。

### 校長より

新しい学習指導要領では、「学びの主体」を「子ども」と捉えています。

学校では授業を充実することで、子どもたちに「わかる」「できる」など自己肯定感や自己有用感を育み、問題解決に向かって子どもたちが頑張る姿を、的確なタイミングで褒めたり、励ましの声掛けをしたりすることで、子どもたちのやる気や意欲を引き出していきたいと考え、取り組んできています。

また、自立した学習者(学び続ける人)の育成をめざし、家庭学習や読書習慣の定着を図るため、家庭学習の手引き「きそまなぶ」の活用、タブレット端末の活用に取り組めます。

ドリル学習の1つ、「eライブラリ」は子どもの理解度に合わせてAIが問題を出すことから、まわりに気兼ねすることなく、これまでの学習内容に立ち戻ることができ、自分のペースで学習を進めることができます。さらに、本校では、学習の土台となる力を育むための「コグトレ(オンライン)」にも取り組んでいます。

折に触れ、学校だよりや学級だよりで、取組の様子や子どもたちの成長をお伝えしていきたいと思っています。

「夢に向かって頑張る木曾岬っ子応援キャンペーン」の取組について、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

何かわからないことなどがありましたら、気軽に担任へご相談ください。



“夢に向かってがんばる木曾岬っ子”のための

## 「わが家の応援プログラム」について

### 1 作成について【一人一台端末（以下：iPad）を活用：1年生は紙媒体】

①取組については、iPadを活用していきたいと思えます。

まず、学校で子どもたちが「自分のがんばり宣言」を作成します。担任の先生や学級での意見交流を通じて仕上げます。

低学年（3年生以下）については、なかなか、将来の夢（職業等）を持つことが難しいことから、学校生活、学習での目標とすることも可能とします。



②「わたしのがんばり宣言」（iPad上で作成）を持ち帰ります。ご家庭でiPadを囲み、お子さんの説明するがんばり宣言をお聴きいただき、その「がんばり」をどのように応援していこうかといったことを取組例（広報きそさき令和4（2022）年5月からの関連掲載記事等）を参考に話していただければ…と思えます。

最終的にデータ上で書き込んで提出いただくことで完成とし、学校で印刷してお渡します。

ご家庭で、いつも見られる場所に掲示して、この一年間、応援していただければ…と考えています。

わが家のスローガンについては、各家庭で、子どもの応援として覚えやすい、意欲が出るなどの点で言葉を考えていただければ…と思えます。

### 2 わが家の応援プログラムの提出、活用

家庭でお話をしていただき、子どものiPadで入力（提出）ください。

1年生は、紙媒体での提出となります！

6月21日（金）までに、iPad上で作成し、提出箱に入れてください

印刷してお渡ししたものを、ご家庭で見やすい所（例：冷蔵庫）に掲示いただき、ご家族での応援プログラムの取組を進めてください。

学級担任は、iPad上で提出いただいたものを保存・共有させていただき、お子様や保護者の方々とともに取り組みを振り返る際に活用させていただきます。

そのほかに、各ご家庭の「わが家の応援プログラム」をとりまとめ、子育ての参考にしていただけるように情報発信をさせていただく予定です。具体的には、青少年育成町民会議の家庭教育部会において、各家庭の「わが家の応援スローガン」を取りまとめ、町の行事健康カレンダー等に掲載し、家庭教育の啓発に活用させていただきたいと考えていますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

裏面：端末（iPad）の操作について



## ① 取組の流れと②iPad の操作について（2年生以上で活用）

### ① 取組の流れ

子どもたちは、iPad：ロイロノートというアプリを活用して学習しています。そのロイロノートを活用して、「夢に向かってがんばる木曾岬っ子応援キャンペーン」の宣言や応援プログラムの作成に取り組みます。

子どもたちは、5月中旬より、自分の夢や目標について考えを巡らせてきています。担任の先生と話をしたり、調べたり、時には、友だちと意見を交わしながら、自分にとっての夢や目標とはなにかを考えているところです。

自分の夢や目標、頑張りたいことをまとめた子（運動会後に）から、子どもたち一人ひとりが、iPad「わたしのがんばり宣言」を入力します。（1年生は、手書きで行います）。

子どもたちが iPad に入力した“自分のがんばり宣言（がんばりたいこと）”を家に持って帰ります。子どもたちから保護者の方へ自分の「がんばり宣言（がんばりたいこと）」を伝えますのでお聴きください。（1年生は読み上げていただけるとありがたいです。）

次に、子どもの「がんばり宣言（がんばりたいこと）」の内容をもとにして、ご家族でどのように応援していくのか、広報「きそさき」令和4年5月号をはじめとする記事等を参考にして、「わが家プログラム」について話し合っていたきたいと思います。

そして、話し合った内容をもとに、「わが家のプログラム」シートへの入力または書き込みしていただき、学校へ提出（提出箱へ入れる）してください。（1年生につきましては、子どもさんを通じて、紙媒体で提出していただきます。）

### ② iPad の操作について（2年生以上で活用）

1. ロイロノートを開きます…ロイロノートへの入り方は、お子さんにお聴きください。
2. ノートを開きます…場所：【特活】または【とっかつ】 - 【夢に向かって】をタップしてください。
3. 原稿が表示されます。

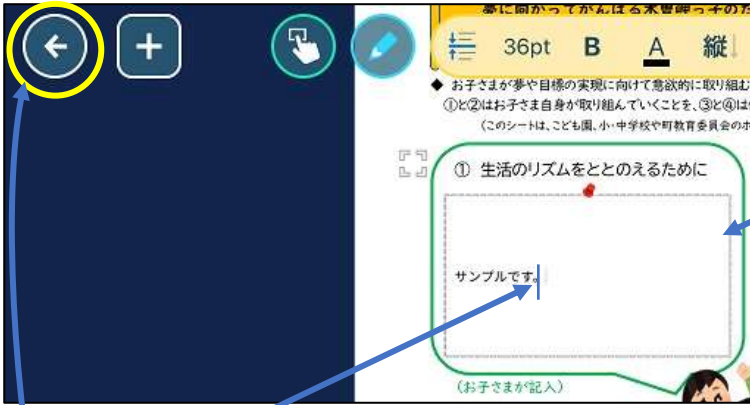
⊕をタップすると2枚表示され、⊖に変わります。⊖になっている場合は全ページ表示されています。



※2枚のシートはつながっています。1枚目には子どもたちの夢や目標、がんばり宣言が書かれていますので、子どもたちからの説明をお聴きください。

2枚目のシートをご家族で囲みながら、「わが家の応援プログラム」について話し合いをして、書き込みを行ってください。

4. 2枚目の原稿をタップします。原稿が表示されます。
5. 薄い枠内をタップすると文字が入力できます。



カーソルが表示されます。“サンプルです。”という文字を削除してから入力ください。

※右下にお子さまのお名前も入力してください。

すべて入力したら、画面左上の⊖をタップしてください。2枚表示に戻ります。

6. ⊖をタップし、⊕の表示に変え1枚表示に変更します。  
※3.を参考にしてください。

7. 原稿を指で押したまま、提出箱の上に合わせます。提出箱のマークのみ反応したら、指を離します。提出先が表示されます。

8. 提出先【夢に向かって〇〇】をタップします。  
(〇〇：学年 学級 例：6A)

“夢に向かって〇〇に提出しました。”とメッセージが表示され、その後消えたら完了になります。



親子で、iPad を活用する取組とさせていただきました。  
操作でうまくいかない場合がありますら、学校へご連絡ください。